

attachment C

UTA-SF2-2 Fibronectin Coat

	メーカー	型番
Fibronectin, from bovine plasma	SIGMA	F1141-5MG
DPBS	GIBCO	14190

5 $\mu\text{g}/\text{cm}^2$	DPBS	Fibronectin
25cm <sup>2</sup> flask	4 mL	125 $\mu\text{L}$
6 well plate (9.60 cm <sup>2</sup> /well)	2 mL	48 $\mu\text{L}$

- Fibronectinは容器やピペットに吸着しやすいので、調製したら直ちに培養容器へ入れる。
- 37°C CO<sub>2</sub> インキュベータ内で3時間以上コーティングする。  
事前にコーティングする場合は、培養容器の蓋にパラフィルムを巻いて4°C保存し、3日以内に使用する。  
4°Cでコーティングした場合は、使用前に室温に戻す。
- 使用する際は、播種直前に液を吸引除去し、コート面が乾かないようにする。

FGF-2 調製液

FAF-BSA in PBS (1 mg/ml)

25 mL	メーカー	型番	必要量	液量
FAF-BSA in PBS (50 mg/mL) (*1)				0.5 mL
DPBS	GIBCO	14190		24.5 mL

\* 4°Cで保存

(\*1) FAF-BSA in PBS (50 mg/mL)

20 mL	メーカー	型番	必要量	液量
Albumin from bovine serum (fatty acid free)	SIGMA	A8806	1 g	
DPBS	GIBCO	14190		20 mL

- \* PBSの中にBSAを少しずつ入れて溶かし  
0.22  $\mu\text{m}$  フィルターで濾過する
- \*\* 4°Cで保存

Activin A 調製液

4 mM HCl in 1 mg/mL FAF-BSA

10 mL	メーカー	型番	必要量	液量
FAF-BSA in PBS (50 mg/mL) (*1)				0.2 mL
HCl (4 mM) (*2)				9.8 mL

\* 用時調製

(\*2) HCl (4 mM)

	メーカー	型番	液量
HCl (100 mM)	SIGMA	13-1730-5	0.5 mL
DW	GIBCO	15230	12 mL

- \* 0.22  $\mu\text{m}$  フィルター濾過して使用
- \*\* 試薬調製日に作製し、作り置きしない